

## 大阪市水道局設計・施工技術連絡会議 会議録

工事名称	楠葉取水場取水施設耐震改良工事		
会議名称	大阪市水道局設計・施工技術連絡会議		
開催日時	令和3年9月30日(木) 10:00～11:30		
開催場所	水道局庁舎、楠葉取水場内現場事務所 (Skype 会議)		
出席者	発注者	設計コンサルタント等	受注者
	水道局工務部工務課	日本水工設計(株)	浅沼・南海辰村特定建設工事共同企業体
議題・議事の内容			
<p>議題</p> <p>「大阪市設計・施工技術連絡会議試行要領」第4条第1項の(1)『設計条件及び設計内容について、当該現場の特殊性等から説明・確認を行う必要がある場合』に該当する下記事案について、本連絡会議を開催し、施工に先立ち明らかとなった課題の共有と、その対応策を議論する。</p> <p>(1) 温度応力解析の結果を踏まえたコンクリート配合の変更について</p> <p>(2) 既設取水管における内面塗装補修の追加について</p> <p>(3) ポンプ吸水井～ポンプ場連絡管における伸縮可とう管の追加について</p> <p>議事</p> <p>(1) 温度応力解析の結果を踏まえたコンクリート配合の変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本工事において施工する沈砂池のコンクリート打設に際しては、設計書特記事項において「コンクリートの配合について、現地状況、打設時期、打設方法を考慮した温度応力解析を行い、配合やひび割れ誘発目地の配置等を十分に検討した上で、施工計画書を提出し監督員の承諾を得ること」としている。</li> <li>・ 「コンクリート標準示方書 設計編 2017 制定 (土木学会)」及び「マスコンクリートのひび割れ制御指針 2016、2008 (日本コンクリート工学協会)」に準拠し、温度応力解析を実施した結果、コンクリート配合を低熱セメントに変更(部材によっては膨張材を配合)することで「最小ひび割れ指数1.0以上」、「ひび割れ幅0.2mm以下」となることが確認できたため、当該変更内容が妥当であると判断できる。</li> </ul> <p>(2) 既設取水管における内面塗装補修の追加について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本工事において既設鋼管の管内調査を行ったところ、内面塗装に腐食、剥離、ひび割</li> </ul>			

れが多数確認された。

- ・ 当該鋼管については補修が必要となるが、補修方法について工期や工事費を考慮して検討した結果、塗装による内面補修が最適であると判断できる。

(3) ポンプ吸水井～ポンプ場連絡管における伸縮可とう管の追加について

- ・ 同区間については狭小な施工スペースであり、既設管路（ダクタイル鋳鉄管φ1000mm）を撤去し、鋼管による仮配管を施工した後に既設管と同位置に鋼管を布設するものである。
- ・ 不同沈下を検討した結果、同区間に伸縮可とう管を追加することで変位に対応できることが確認できたため、当該変更内容が妥当であると判断できる。

以上